

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.3 3

開催地：八代市麦島校区

平成 19 年 10 月 2 日（火）、八代市麦島校区（会場：植柳新町公民館地域学習センター）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。
 同報告会には、約 30 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。
 いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。
 なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

市内	30 名
市外	1 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横石地点で 9,900m³/s が流れた場合、当該地区でどのくらいの水位になるか教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、八代においては、平成 18 年 7 月洪水における横石地点のピーク流量は約 7,100m³/s（速報値）でした。当時の洪水現象と流量の数値を合わせて考えると、大まかな目安にはなると思います。 なお、現在の河道及び堤防の状況では、9,900m³/s の洪水を安全に流すことはできないものと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・知事は、いろいろ県民に対する説明責任をなさいと言っていて、そうしたこともあり、この報告会となったと思うが、知事はイエスもノーも言っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小委員会での結論に対して、知事からは「基本方針の内容について県民の理解が得られるか疑問であり地元を代表する知事として了承しがたい」「基本方針の内容及び審議経緯について、県民への説明責任を果してほしい」とのご意見をいただいております。
<ul style="list-style-type: none"> ・我々はマスコミの報道を頼りに現状を確認しているが、いろいろな意見が飛び交い、庶民は置いてきぼりにされている。説明会を行う際には、もう少しきちんとした資料を事前に配布してもらい、説明責任を行って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の小委員会資料や議事録については、ホームページ掲載のほか、流域内市町村の役場で閲覧できるようにしています。 また、報告会の配布資料は、ホームページでも入手できるようになっています。 今後も様々な機会を通じて、住民の方々へのご説明やご意見をお伺いしていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・今の整備計画は第何次か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川法が平成 9 年に改正され、その中で河川整備計画を策定することが定められました。球磨川では、初めて河川整備計画を策定することになります。
<p>【球磨川の治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防の住宅側で土留めがほとんど無いところがある。土留めが無いところでは、崩れかかっており、生活道路に泥が流れ出している状況。工事をする時に手を抜いてつくるところがあるのではないか。部分的に未整備ということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会后、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきました。今後、石積みが壊れていた箇所については補修を行い、道路に崩れた土砂については撤去し、土留めを設置することと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・この区では、梅雨時期の満潮時には水が溜まることがある。ポンプアップなどの内水対策ができないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会后、ご発言いただいた方、八代市役所の担当者と一緒に現地を確認しました。当地区の内水については、八代市で対応を検討いただくものと考えております。
<ul style="list-style-type: none"> ・川辺川ダムについて、現地を視察したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察については、地元市町村を通じてご要望していただければ

<ul style="list-style-type: none"> 川辺川ダム計画が出来て現在までに何年たっているのか。また、川辺川ダム建設事業にどのくらいお金をつぎこんでいるか。川辺川ダムの本体を造っていくことになると膨大なお金がかかると思う。 	<p>ば、可能な限り対応したいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ご質問に対して、川辺川ダム砂防事務所を確認を行いました。以下の通りです。 昭和41年に計画が出来ており、今年(H19年)で41年目になります。また、事業費については、平成18年度末時点の進捗状況としては約2,040億円執行済みとのこと。
<ul style="list-style-type: none"> 県財政の厳しい中、本当に荒瀬ダムを撤去できるのか。その次は瀬戸石ダムも撤去し、遥拝堰で洪水調節するようなことがあるのか、技術的に分からないので教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 荒瀬ダムについては、平成22年度から熊本県が撤去を始める方向で検討中であると聞いています。また、瀬戸石ダムは電源開発(株)で管理されていますが、撤去の予定があるとは聞いていません。なお、荒瀬ダム、瀬戸石ダムは洪水調節をする機能はありません。(洪水時には、上流から流れてきた水量を、そのまま下流に通過させています。)
<ul style="list-style-type: none"> 橋から少し行った河川敷に降りるところの護岸が浸食されている。建設省時代に根固めを設置してもらい、だいぶ良くなったが、ブロックが倒れており、まだ浸食が進んでいると思う。あそこがやられると南公園を含む一体は一直線に洪水に襲われてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 南川との分流後の球磨川右岸に袋詰め根固めの状況については承知しています。平成18年にも調査を行っていますが、水衝部でもあることから対策を慎重に検討しているところです。今しばらくお時間をいただきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 筑後川では、湾曲部の内側を洪水が流れるようにして、排水をよくしているところが沢山あるが、球磨川ではそのような改修はできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 治水対策の検討にあたっては、個々の河川ごとに地域社会や環境への影響も考慮し、最も効果的・効率的な手法を選択しています。 筑後川の中流部では、治水対策について総合的に検討した結果、ご指摘のようなバイパス河川を造り、洪水を流すといった改修が何箇所も行われています。 球磨川下流部では、バイパス河川という手法よりも、堤防の整備や川幅を広げることが適当な手法であると判断し、過去に対策を行ってきたところです。
<ul style="list-style-type: none"> 水路が逆勾配になって中に土砂が貯まっている箇所がある。対策として、柵を設置したり勾配を直したりすることはできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告会後にご発言いただいた方と一緒にご指摘のあった樋管の水路の現地確認をさせていただき、その後、ご発言いただいた方の立ち会いのもと、水路の測量を行いました。測量の結果、沈下等により若干ではありますが逆勾配になっていることが確認されました。現状では樋管の操作には支障がないことから、しばらく様子を見ていきたいと考えており、この旨、ご発言いただいた方にもお伝えしています。
<ul style="list-style-type: none"> ここは、水害になっても避難所が無い。避難所を兼ねた公民館等を建てようとするとき、国交省から補助はできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所整備については、基本的に地元市町村で対応いただくものと考えています。国土交通省としては、例えば、どこに避難所を造れば安全か、あるいは浸水しないためにはどのくらいかさ上げが必要かなどの情報提供を通じて、協力していきたいと考えています。
<p>【球磨川の環境について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境美化のため堤防に花を植えたらどうかと思う。南公園の堤防の下あたりは、雑草がいっぱいあるため、花を植えたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告会後、ご発言いただいた方や八代市役所と一緒に現地を確認させていただきました。当該箇所では、堤防に盛土を行い、地元でしっかりと管理していただくことを前提に、市から占用申請がなされれば、花を植えることは可能であると考えており、

<ul style="list-style-type: none"> 河川敷の上の堤防筋に2～3年前から放置されていた車が片付いていた。要望してから何年か放置されていた。 	<p>現地確認の際にその旨お伝えしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川区域内に不法投棄された物件の処分については、河川管理者であっても、不法投棄されている私有財産を勝手に処分することができないことをご理解いただければと思います。 なお、所有者が確認された場合は撤去をお願いしておりますが、所有者が確認されない場合は、地元の市役所や警察にも協力をいただいて、撤去を行った事例もあります。 平成19年にも市役所、警察と連携して、ご指摘のような放置車両の一部の除去を行っています。
<ul style="list-style-type: none"> 堤防の草刈りを美化活動の前（6月、9月）にやってもらえないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 堤防の除草は概ね年に2回、洪水が起きやすい時期の前と後に、堤防に亀裂などの異常がないかを確認することを目的に実施していますが、地元の方々から時期についてご要望があれば、可能な範囲で対応していく考えです。
<ul style="list-style-type: none"> 堤防が舗装されている所の先に1m下がって道がある。1m位の高さのコンクリがあり、子供が乗ったりして危ない。きちっと整備して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告会の後、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきました。堤防の舗装は他の地区でも要望が多くあり、ご要望の場所についてすぐに対応することは難しいかもしれませんが、ご意見は賜りました。
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 荒瀬ダムは、いつから本体を崩すことになっているのか。 県財政は、税収がうまくあがらないから、積み立てた基金を取り崩している。本当に荒瀬ダムの撤去はできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 荒瀬ダムは、熊本県が平成22年度から撤去を始める方向で検討を進めていると聞いています。 ご指摘の件につきましては、荒瀬ダムを管理している熊本県にお伝えしました。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。